

第 86 回 みんなで作る音楽会 報告

日時：4月9日 水曜日 13:15 から 16:40

場所：公民館 114 室

参加者：住本、小林猛、清水、久我、高濱、徳島、伊藤、塩路夫妻、山川恵子、滝崎、山崎、安居院（記）計13名

さだまさし バイオリニスト・石田泰尚 吹奏楽

今回は、ぐっと趣向を変えて“さだまさし”に迫ります。

10 年前の番組ですが、地球劇場という今は亡き谷村新司の司会で、掘り下げ、我々の世代には、心に沁みる歌ばかりでした。さだまさしの世界に浸りきることができました。

次に、今話題のヴァイオリニスト石田泰尚さんに迫ります。まずは彼自身のエピソードを理解し、崎谷直人との最強バイオリン・デュオ「ドス・デル・フィドル」での活躍の様子を見てみました。聞きなじみのある曲ばかりで、楽器の響きを楽しむことができました。

最後には吹奏楽の魅力について味わうことができました。NHK ホールを埋めた、大勢の中高生のサウンドに感心しました。

1. 地球劇場「さだまさし」

13:15-15:45

ウタビト さだまさし 2014 年 09 月 06 日 放送

さだまさし【プロフィール】

1952 年 4 月 10 日長崎市生まれ。

シンガーソングライター・小説家。



'73 年に「グレープ」でデビュー。代表作品は「精霊流し」「無縁坂」。'76 年ソロデビュー後も「雨やどり」「秋桜」「関白宣言」「北の国から」など数々の国民的ヒット作品を発表する。活動の中心であるコンサートの回数（'76 年以降）が昨年 7 月 17 日に 4,000 回に達し、記念公演を日本武道館で開催。同時期に、40 周年と 4000 回を記念してリリースした「天晴～オールタイム・ベスト～」がヒット。また、2001 年「精霊流し」で小説家としての活動を開始。

以後「解夏」「かすていら」「眉山」「風に立つライオン」など 8 作品を発表。2014 年 2～5 月にフルオーケストラとの共演によるコンサートツアーを開催。また 9 月 10 日に 2 年ぶりとなるオリジナルアルバム「第二楽章」をリリースし、同タイトルのコンサートツアーも開催。

演奏する曲は、幅広い世代に愛される大ヒット曲「関白宣言」や山口百恵に提供した「秋桜」。グレープ時代の名曲「精霊流し」、聴くものに親しい人や家族を想起させる「案山子」、そして、映画のように目の前に物語が広がる「風に立つライオン」。

また、谷村 x さだの夢のコラボレーションで、アリスの名曲「チャンピオン」も披露！すべてフルコーラスでお届け。

2 人のトークでは、グレープからソロ活動に至る紆余曲折や、それぞれの歌の誕生秘話、そして、さださんの故郷・長崎や家族に対する想いなどにも話題が及びます。さださんの新たな一面が見えてくる逸話や、ふたりの意外な交流エ



ピソードも。

そして、谷村新司がさだまさしさんに贈る珠玉の1曲「ANSWER SONG」は「無縁坂」でした。

感想；

やはり、歌もトークもよかった。本音でしゃべっているのも、聞いている方も引き込まれてしまった。さだまさしの歌詞が、それぞれに素晴らしい。山の上の松の木からの視点で詩を書いたという案山子のエピソードや、山口百恵が18歳の歌い始めの時は、歌詞の内容が呑み込めていなかったと言ひ、21歳のラストコンサートを終えて「やっと、歌詞の意味が理解できました」とさだにメッセージを送る話。そして、新曲プログレッシブ・ロック「君は歌うことができる」を聞いた。

ここまで言うかという歌詞であった。攻めまくるさだまさしって、素晴らしい。

その始まりは、87年のバブル絶頂期に「風に立つライオン」のなかで、『僕たちの国は残念ながら、何か大切なところで道を間違えたようですね』と書いたところにある。

何か、炭鉱の金糸雀のようです。敏感なセンサーが、アラームを発信しているのですね。

同じ時代を過ごした私たちにとって、どれもが身に沁みる歌詞です。

楽曲の美しさ、歌唱のすばらしさだけではなく、歌詞をかみしめることで味わいが出るさだまさしって、ほんとうにすごいとしか言いようがない。もっと頑張ってもらいたい。

2. 休憩

14:45-15:00

今回は、5月14日水曜日 13:15- @114室

3. クラシック TV「バイオリニスト・石田泰尚」

15:00-15:50

硬派な外見と優雅な音色でファンを魅了するバイオリニスト・石田泰尚。神奈川フィルハーモニー管弦楽団などでコンサートマスターを務める傍ら、ソロや弦楽合奏団「石田組」での演奏など、公演数は年間200を超える。石田さんの音楽の原点から、茶目っ気たっぷりの人物像、石田泰尚の魅力がいっぱいの15分。もちろん演奏もたっぷりと！

この番組でしか見られない清塚さん・愛理さんとのコラボ演奏も必見！

楽曲；

・からたちの花 石田泰尚 作曲：山田耕筰

・バイオリン・ソナタ第1番から第4楽章

石田泰尚(バイオリン)、清塚信也(ピアノ)

作曲：モーツァルト

・糸 石田泰尚(バイオリン)、鈴木愛理(歌)

清塚信也(ピアノ) 作詞：中島みゆき

作曲：中島みゆき 編曲：萩森英明



感想；

私たちオールドファンには、びっくりのレジェンド N 響の徳永二男さんがビデオメッセージを寄せてくれたのに感激、まだまだお元気だったのですね。

とにかく石田の演奏は、音色がすごい。艶がある。

クラシック以外の曲で、そのすごさがわかる。「からたちの花」や「糸」が素晴らしかった。魂に響く音色なのだ。

ドス・デル・フィドル演奏会～山梨県南アルプス市公開収録～

石田泰尚と崎谷直人による最強バイオリン・デュオ「ドス・デル・フィドル」登場！強面な2人が奏でる音色はリリカルかつ豪胆！モリコーネからピアソラまで名曲をお届け。

楽曲；

・金髪のジェニー 高橋優介(ピアノ)

作曲：フォスター 編曲：山中惇史

・サマータイム 高橋優介(ピアノ)

作曲：ジョージ&アイラ・ガーシュウィン

・ハンガリー舞曲 第5番 高橋優介(ピアノ)

作曲：ブラームス 編曲：山中惇史

・ガブリエルのオーボエ 高橋優介(ピアノ)

作曲：エンニオ・モリコーネ 編曲：萩森英明

・映画「ゴッドファーザー」愛のテーマ 作曲：ニーノ・ロータ 編曲：萩森英明

・映画「ロミオとジュリエット」愛のテーマ 作曲：ニーノ・ロータ 編曲：萩森英明

・鮫 作曲：ピアソラ 編曲：篠田大介

・「ブエノスアイレスの四季」から「ブエノスアイレスの冬」作曲：ピアソラ 編曲：篠田大介

・リベルタンゴ (※アンコール曲) 作曲：ピアソラ 編曲：山中惇史

・すべての山に登れ (※アンコール曲) 作曲：リチャード・ロジャーズ 編曲：萩森英明



感想；

高橋優介のピアノ演奏でのデュオも素晴らしかった。

なじみのある曲が、演奏されるので引き込まれる。

映画音楽や、ピアソラの曲も素敵だ。ピアノとヴァイオリン 2 台だけで、これだけの迫力のある演奏ができるのだ。

感心したのは、会場である南アルプス市のコンサートホールでの演奏だったので、最後の曲は、「すべての山に登れ」だったこと。映画「サウンドオブミュージック」の重要な曲である。マリアがトラップ大佐邸から逃げ出した時、修道院長がマリアに歌って聞かせる曲である。また、この曲はラストでオーストリアからスイスに亡命する旅路でも使われている。まさにアルプスにふさわしい楽曲だったのだ。観客にきっと響いたことだろう。

4. 吹奏楽のひびき presents ドリームブラス！

15:50-16:30

FM「吹奏楽のひびき」からスピノフ！NHKホールに集まった吹奏楽部の中高生たちと一緒に
つくりあげる吹奏楽の夢のコンサート！（抜粋版）

若きサクソフォーンのトップ奏者、上野耕平さんが、小さな小さな吹奏楽部を熱血指導。彼らと夢

の共演を果たします！

上野さんの仲間たち、ぱんだウィンドオーケストラ、そして吹奏楽部出身の柏木由紀さんと FM「吹奏楽のひびき」MC 中橋愛生さんが、吹奏楽の名曲から吹奏楽部あるあるまで、吹奏楽をとことん深掘り！

吹奏楽の魅力をギュギュッと詰め込んだコンサートです。



感想；

偶々、お寺の用事がなかったので4/6の日曜日、芦屋桜祭りに行ってきました。

そこで、芦屋少年少女合唱団のミニコンサート30分を聞いてきました。ジブリの曲などかわいい歌を鑑賞し、その歌声に感動しました。若い子に出合える機会はめったにないので、とっても嬉しい気持ちになりました。そのあと桜見物に行きました。

音楽が趣味って、一生楽しめる事ですね。もっと早くに音楽に触れておきたかった。

この番組では、中高校生の吹奏楽団の皆さんがNHKホールに集まって、吹奏楽の合奏をするところが、良かった。

以上